

水のめぐみ

Vol. 43 2016 2.15

豆知識

下水道と合併浄化槽

わたしたちは、毎日の暮らしの中でたくさんの水を使っています。しかし、この使った水(=生活排水)をそのまま放置すると、蚊やハエの大量発生や、悪臭の発生等の原因となります。

そこで活躍するのが下水道です。下水道は、各家庭から速やかに生活排水を排除し、水処理センターで処理することで、快適で衛生的な生活環境を創り出します。

また、公共下水道が整備されていない地域では、各家庭で合併浄化槽を設置しなければなりません。合併浄化槽は生活排水を浄化し、側溝や河川等に放流するための設備です。

下水道と合併浄化槽、どちらも生活排水を処理し、私たちの生活を守りながら、川や湖の水をきれいに保ちます。

トピックス 『水のめぐみ』をお届けします

皆さんが普段使っている水道はどこから始まるのでしょうか？

蛇口から水道管をさかのぼって行くと、浄水場にたどり着きます。水道管で繋がれた範囲を「水道」と考えるならば、水道のスタート地点は浄水場ということになります。

もちろん、浄水場もまた、水道水の元となる水を河川から取水する必要があります。そうすると、川の源流こそが水道のスタート地点とも考えられます。

源流は、雪渓からしたり落ちるひとしずくのこともあれば、静かに湧き出す小さな泉のこともあるでしょう。高崎市の主要な水源の一つである烏川の源流は、倉淵町と軽井沢町の境にある鼻曲山の、烏口という岩から染み出す最初の一滴であると言われています。

皆さんの家の蛇口にも、源流の最初の一滴が届いているかもしれません。

さて、水道事業を取り巻く環境は、水需要の減少や施設の老朽化などで年々厳しさを増しています。しかし、大自然から受け取った『水のめぐみ』を、安心・安全な水道水として皆さんの元へお届けすることが、水道局の使命です。

水道局では今後も経営努力を続け、引き続き安心・安全な高崎の水をお届けできるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



写真：鼻曲山(浅間隠山より撮影)

月に1度は漏水チェックを

水道の使い方は変わっていないはずなのに水道料金の請求額が高い場合は、宅地内のどこかで水漏れの可能性があります。

〈漏水の確認方法〉

- ①水が出ないように、すべての蛇口をしっかりしめます。
- ②水道メーターのパイロットを見てください。このときパイロットがクルクルと回っていれば宅地内のどこかで漏水しています。

〈漏水していたら〉

漏水の修理は、高崎市水道局指定給水装置工事事業者(指定工事店)に依頼してください。

修理代は、お客様負担となります。なお、アパートなど賃貸の物件は、所有者や管理会社にご連絡ください。

地下に埋設された部分など、発見が困難な箇所からの漏水と認められる場合には、水道料金の一部が減額されることがあります。手続きは、修理を依頼した業者または、水道局にお問い合わせください。

なお、指定を受けた施工業者以外は、工事はできませんので、高崎市のホームページ(指定工事店一覧)で確認してください。



水道メーターパイロット

指定工事店一覧

